



OKADA Report

第62期 株主レポート

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日

オカダアイオン株式会社



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

当社グループ マスコットキャラクター
オカダライオン

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日 (当社は中間配当制度を設けておりますが、現在は期末配当のみを行うこととしております。) 上記のほか必要と認めるときは、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレスは、 https://www.aiyon.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

株主優待のご案内



オカダアイオン・プレミアム優待倶楽部

新たな株主優待制度は、保有株数に応じて贈呈するポイントを使用いただき、インターネット上の2,000点を超える商品の中からお好みに合わせてお選びいただける制度です。

権利確定日 2021年3月31日 (300株以上保有する株主様対象)

▶▶▶ 詳しくは、当社ホームページをご覧ください。



オカダアイオン株式会社
<https://www.aiyon.co.jp/>



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済及び世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大が続き、感染拡大防止と経済活動の両立が求められる中、一進一退の予断を許さない状況となりました。

このような環境のもと、当社グループは、解体・インフラ工事、災害復興、リサイクル、再生エネルギー関連の建設・産業用機械を取り扱っており、行政の指導のもと従業員や関係する皆様方の感染防止に努めつつ事業活動を継続し、顧客要請に対応した安定的な商品供給とアフターサービスを心がけてまいりました。また、接待・出張の抑制運用や会議のリモート化等により経費削減にも注力してまいりました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高17,591百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益1,377百万円（前年同期比0.6%増）、経常利益1,433百万円（前年同期比6.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益919百万円（前年同期比3.9%増）と減収ながら増益を確保しました。

今期以降も、国内外で新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う経済活動の制限が引き続き予想されることに加えて、政治リスクや地政学リスク等の懸念材料も存在し、当業界全体においても少なからず影響が予想されます。

一方では、世界的なインフラ整備需要の拡大に加えて、国内においては、都市再開発、災害復興工事や耐震・防災構造への建替え、資源再利用のためのリサイクル、森林・林業再生プランに基づく林業機械化等、国土のレジリエンスに貢献する幅広い分野での需要が引き続き底堅いものと思われる。

このような環境のもと、当社グループは、従業員及び関係する皆様方の安全を最優先に、新型コロナウイルス感染再拡大の防止に努めつつ、顧客需要に対応した安定的な商品供給とアフターサービスに心がけ社会的責任を果たしてまいります。さらには、コロナ影響の長期化と収束後の需要回復も念頭に置きながら、今期からスタートする長期ビジョン「VISION30」の初年度として、お客様ニーズに真摯に向き合うとともに社内体制の整備を図り、この難局に対処していく所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
岡田 祐司

Q この一年を振り返って
いかがでしたか？

予定していた当社単独の展示会を一年延期する等、2020年度は新型コロナウイルスにより様々な影響を受けましたが、終わってみれば前年並の売上を達成し、利益面では増益を確保できました。

業績と安全面の確保を両立させることは難しい点がありましたが、一方で、会議や打ち合わせのリモート化が促進され、業務効率化や経費削減が進んだ良い面もありました。

ピンチをチャンスと捉えつつ、近年慌ただしさから見落としていたこと、後回しになっていた点

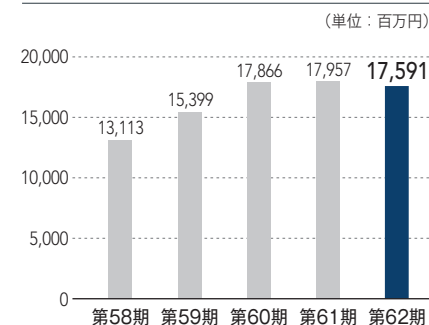
が無い確認を行って、今後も足元を固めていきたいと考えています。

Q 新型コロナウイルスの影響は
いかがでしたか？

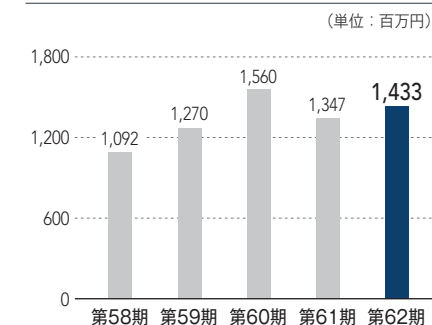
建物解体は屋外で行われるため作業環境に大きな変更が無く、国内セグメントにおいては引き続き販売・修理を行うことができたことは幸いでした。主力の圧砕機では買い控え傾向により一部苦戦したものの、バイオマス発電向け等の需要が堅調なこともあり、ほぼ前年並の売上を達成できました。

財務ハイライト

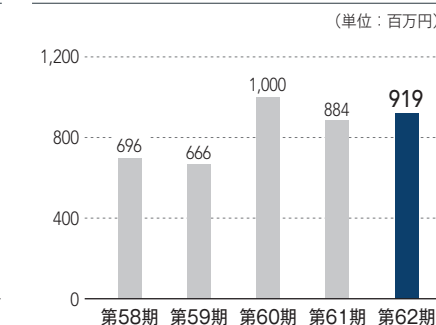
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



南星セグメントも同様に買い控えによって主力の林業機械・金属スクラップ機械の売上に影響が出ましたが、水力発電所改修工事等で必要となるケーブルクレーン事業は新型コロナウイルスの影響を受けず、引き続き好調な売上を維持できました。

一方海外においては、ロックダウン等の大掛かりな活動制限による影響を受けました。

ただ主力の北米で売上高が減少したものの、現地法人化した欧州では営業活動のリモート化も功を奏して約30%売上を伸ばし、またアジアも現地ニーズに沿った新商材を投入できたことで、売上増を達成しています。

今後もお客様と社員の安全を確保しながら、営業活動を進めてまいります。

Q 新しい経営計画が発表されました

2020年度まで実施してきた「アーチ2020作戦」では、新型コロナウイルスの影響もあって当初計画を持ち越したものの、国内では主力工場の拡張による生産体制の増強、海外では欧州・アジア拠

点の展開など、次のステージに向けた種を多く蒔くことができたと考えています。

これらを踏まえ、今後も継続が予想される新型コロナウイルスの影響に一喜一憂することなく、我々がどうありたいか・どうあるべきかを長期的な観点から計画した長期計画「VISION 30」を策定いたしました。

また、直近の三年間については中期経営計画ローリングプランとして策定し、長期ビジョン達成に向け、着実な成長を遂げてまいり所存です。

本レポート中ほどに経営計画の概要をご説明しておりますので、是非ご覧ください。

Q 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします

先行きの不透明な状況が続いておりますが、新経営計画の初年度をしっかりと固めるため、経営判断のスピード化を一層図るとともに、社員一丸となって引き続き努力してまいりますので、株主の皆様におかれましてはご指導ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

TOPICS

1 オカダ大展示会

2021年6月2・3日の日程で、創業以来初めてとなるオカダグループ(オカダアイオン・南星機械・アイオンテック)単独の『オカダ大展示会』を開催いたしました。

- ①オカダグループの全商品・新商品の総台数170台の展示
- ②業界初「アタッチメント補償制度」(購入日より2年間、条件あり)の発表
- ③「わくわくものづくり推進チーム」より「GPS搭載によるアタッチメント稼働状況管理システム(O-ATTA)」の紹介



また、油圧ショベルメーカー様8社(※)にも協賛出展いただくとともに、ユーザー様、販売店様、協力会社様、機関投資家やアナリストの皆様、就活



中の学生様と幅広い業界の方々のご来場がありました。今回はコロナ禍での開催ということもあり、スタッフ全員のPCR検査・医師の会場常駐等の感染防止対策を行い開催中の感染者発生も無く、盛況のうちに終えることができました。ご多忙の中ご来場されたお客様、協賛いただいた油圧ショベルメーカーの皆様、ご協力いただき誠にありがとうございました。

※協賛油圧ショベルメーカー(50音順)
加藤製作所、クボタ建機ジャパン、コベルコ建機日本、コマツ、住友建機販売、日本キャタピラー、日立建機日本、ヤンマー建機

2 『日建連表彰2020 第1回土木賞』を受賞

このたび、当社グループの南星機械が施工に携わりました「ハツ場ダム本体建設工事」が、2021年4月19日に開催された一般社団法人 日本建設業連合会主催の「日建連表彰2020」において、土木賞を受賞いたしました。

本工事で南星機械は、コンクリート打設設備 18トン固定ケーブルクレーン 1基、資材運搬用 4.5トン固定ケーブルクレーン 1基を納入しました。



【概要】

工事名:ハツ場ダム本体建設工事
発注者:国土交通省関東地方整備局

【日建連表彰土木賞とは】

日建連では、1960年に創設した建築分野のBCS賞の表彰が行われています。2011年に新・日建連の発足以降、土木・建築の両分野に活動の場が拡がっていることから、活動領域を踏まえた新しい表彰制度が設けられました。



VISION30を策定

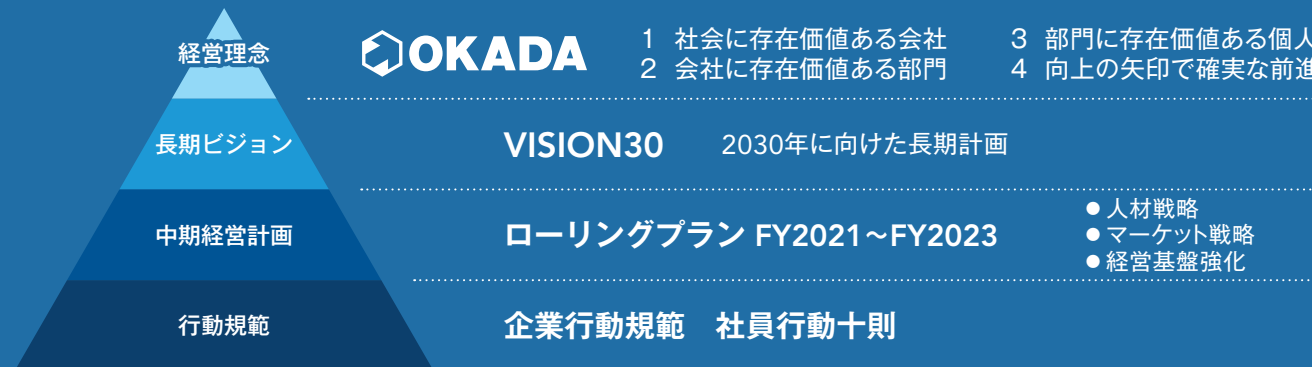
当社グループは、更なる成長を目指し2016年3月期から前中長期経営計画「アーチ2020作戦」に取り組んでまいりました。

その最終年度である2021年3月期は全世界で新型コロナウイルス感染拡大という予期せぬ事態に見舞われ、事業計画の完遂に関しては持ち越しとなりましたが、感染拡大防止に努めながら使命感を持って事業の遂行に鋭意努力してまいりました。

この機に際し、次の10年間、すなわち2030年を展望し、ESG

経営を推し進め更なる高みにチャレンジしていくため、このたび、長期ビジョン「VISION30」及び、その実現のための中期経営計画「ローリングプラン FY2021~FY2023」を策定いたしました。

今後も経営理念である「社会に存在価値ある会社」を目指して、グループ社員一丸となって価値ある商品・サービスを提供し、事業拡大と企業価値向上を図ることで株主の皆様のご期待に応えてまいります。



● VISION30の骨子

VISION30 ステイトメント

スローガン **人は環境をつくる**

価値観
 【社風】個人尊重・自由奔放・一体感のある社風
 【ビジネス】ユーザーに寄り添った商品・サービスの提供
 【社会性】環境問題などの社会課題の解決につながる事業拡大

環境に流されずに環境づくりができる人材を育成し、事業を通じて環境にやさしい社会の実現に貢献する。

VISION30 業績評価指標(KPI)

トリプル **3**

売上高	300億円以上
営業利益	30億円以上
時価総額	300億円以上

トリプル **10**

売上高伸び率	10%以上
売上高営業利益率	10%以上
ROE	10%以上

ESG経営の実践

VISION30の達成

目指す姿

Go To The Next Stage **ONE**

国内ダントツ No. 1	世界Tier 1	ONLY 1	1 TEAM	ALL FOR 1 GOAL
---------------------	-----------------	---------------	---------------	-----------------------

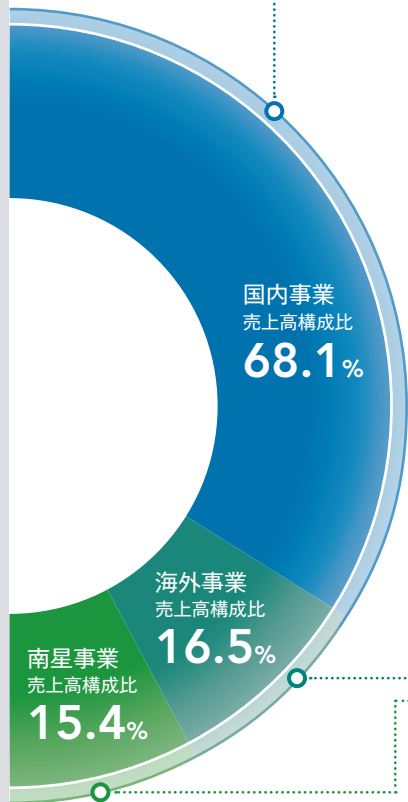
● VISION30 3つの戦略

人材戦略	① 人づくり ② 人事制度 ③ 働き方改革	人材の採用・育成・活用 実績・貢献を反映した公明正大な評価・報酬制度 働きやすい・働きたくなる・働きがいのある職場づくり
マーケット戦略	① 国内戦略 ② 海外戦略 ③ 新規事業	需要拡大に対応した一気通貫バリューチェーンの強化 米・欧・アジアの3拠点への商材・戦力投入による市場開拓 新技術応用(新解体工法、DX等)と戦略的M&Aの推進
経営基盤強化	① CG体制 ② ハード・ウェア ③ ソフト・ウェア	持続的成長を支えるガバナンス体制の構築 国内・海外の工場・営業拠点の整備(増設・新築) システムインフラの整備とDXによる業務改革・顧客対応力進化

● 中期経営計画 ローリングプラン FY2021~FY2023

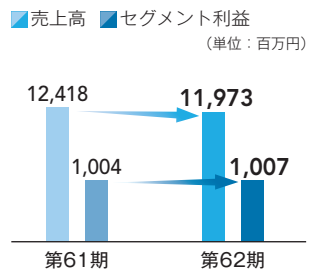
2023年度の経営目標	業績計画 (24/3期)	投資計画 (22/3期~24/3期累計)		
	売上高	22,000百万円	設備投資	3,550百万円
	営業利益	2,100百万円	研究開発費	660百万円
	売上高伸び率(前年比)	10.0%	<主な設備投資(予定)> 広島営業所、中部営業所、仙台営業所、札幌営業所、盛岡営業所、オカダアメリカ本社、アイオンテック工場	
	売上高営業利益率	9.5%		
ROE	10.2%			

セグメント別
事業の概況



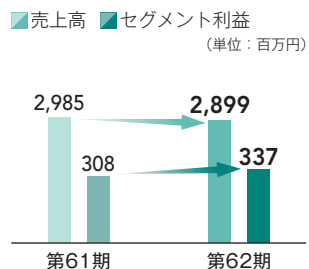
国内事業

- コロナ禍中での買い控え影響等もあり、主力の圧砕機の売上高は5,713百万円(前年同期比5.7%減)、油圧ブレードの売上高は807百万円(前年同期比7.2%減)。
- 木造解体や災害復興等の用途が見込まれるつかみ機は売上高980百万円(前年同期比10.1%増)。また、バイオマス発電向け等の需要が堅調な環境関連機器は、売上高1,640百万円(前年同期比5.9%増)。
- アフタービジネスについては、原材料売上高が1,250百万円(前年同期比6.1%減)、修理売上高は756百万円(前年同期比9.2%減)。
- その結果売上減収により粗利は減少したが経費削減により、セグメント利益は1,007百万円(前年同期比0.4%増)。



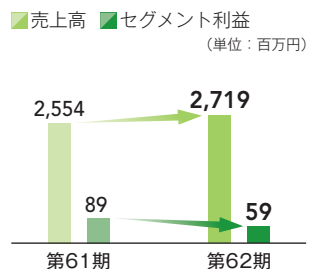
海外事業

- 世界的に、コロナ感染拡大が進む中、北米では活動制限もあり売上高1,839百万円(前年同期比14.6%減)。一方で、2020年1月に現地法人化した欧州は販売代理店の拡大により売上高478百万円(前年同期比32.3%増)。
- 2019年度苦戦が続いたアジア地域は、新商材の投入により売上高508百万円(前年同期比23.6%増)。
- その結果売上減収により粗利は減少したが移動制限等の経費削減により、セグメント利益は337百万円(前年同期比9.5%増)。

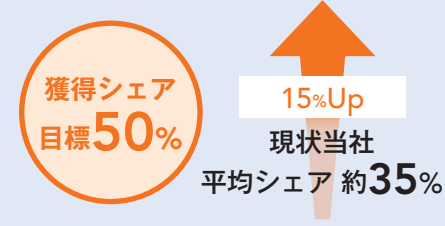
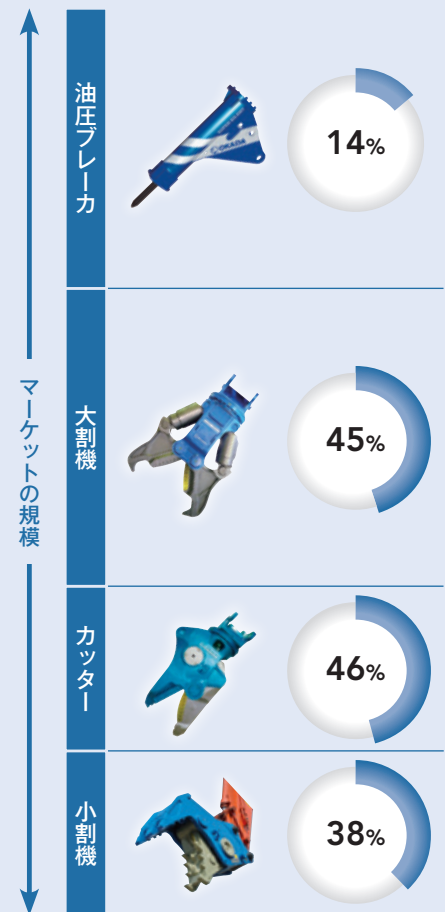


南星事業

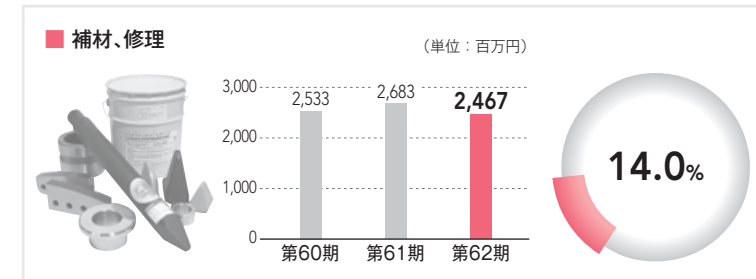
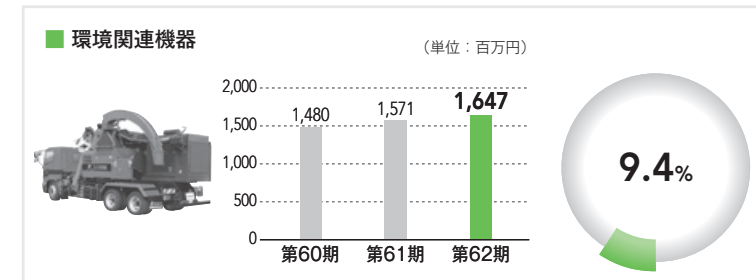
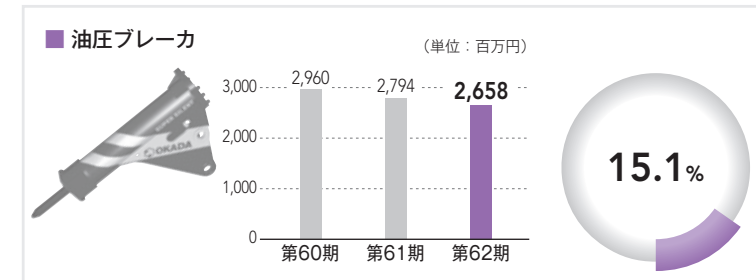
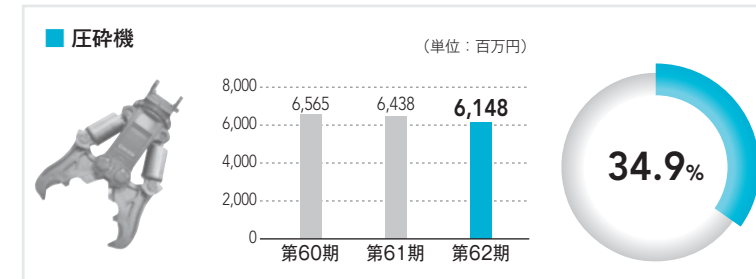
- コロナ禍中での買い控え影響等もあり林業機械は売上高702百万円(前年同期比9.7%減)。
- 金属スクラップ機械は売上高369百万円(前年同期比10.8%減)となったものの、ケーブルクレーン事業は再生可能エネルギーとして見直されている水力発電所の改修工事が順調で売上高1,010百万円(前年同期比45.7%増)。
- その結果、売上は増収ながら売上構成の変化等により粗利は減少し、セグメント利益は、59百万円(前年同期比33.2%減)。



主力解体機国内シェア状況



品目別売上高



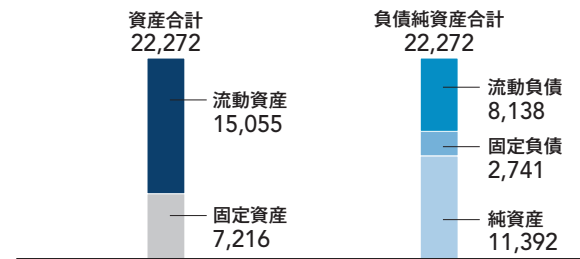
※1. 円グラフは国内マーケットシェア。
 ※2. 2020年度日本建設機械工業会発表資料を基に当社推定。

※1. 円グラフは主要機種種の売上高構成比。
 ※2. 南星事業は含まれておりません。

連結財務諸表
(要約)

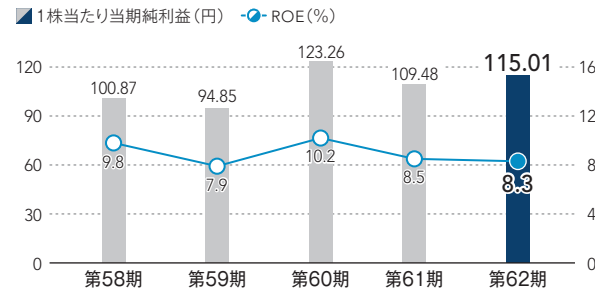
連結財務状況

当期末の資産の状況 (百万円)

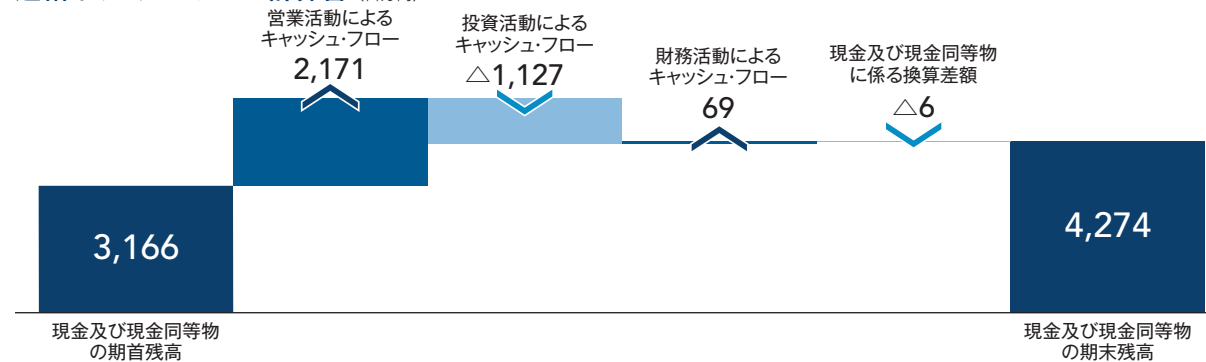


1株当たり情報

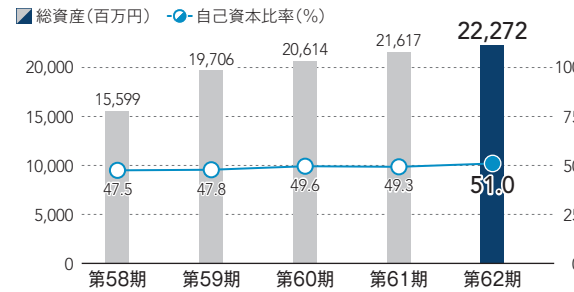
1株当たり当期純利益/ROE



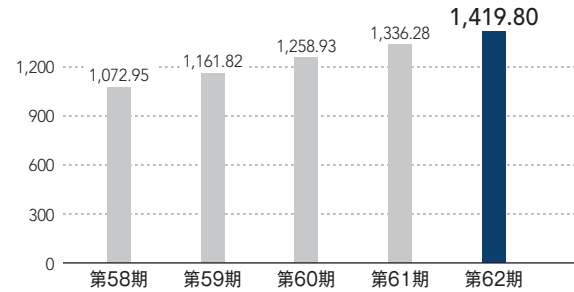
連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



総資産/自己資本比率



1株当たり純資産 (円)



※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要/
株式情報

会社の概要 (2021年3月31日現在)

商号 オカダアイオン株式会社
OKADA AIYON CORPORATION
本社 〒552-0022
大阪市港区海岸通四丁目1番18号
TEL. 06-6576-1281

設立年月日 1960年9月1日
資本金 2,221百万円
従業員数 202名

[主要な事業内容]

- ▶ 油圧ブレーカ TOP、TOP-V、超低騒音TOP-S、TOP-J
- ▶ 圧砕機 TS-Wクラッシャー、TSRCクラッシャー、TS-Wカッター、TS-Sカッター、コワリクン、マグネットコワリクン
- ▶ 環境関連機器 タブグラインダー、ウッドホグ、ログバスター、ビッグバス、アマダス、アイオン与作プラント関連機器

[主要な営業所]

東京本店・関西支店・札幌営業所・盛岡営業所・仙台営業所・湘南営業所・中部営業所・北陸営業所・広島営業所・四国営業所・九州営業所・東京オフィス・海外事業所・タイ駐在員事務所

[オカダアイオングループ]

株式会社アイオンテック・株式会社南星機械
Okada America, Inc.・Okada Europe B.V.

役員 (2021年3月31日現在)

代表取締役会長	荻田俊幸
代表取締役社長	岡田祐司
常務取締役	前田西男
取締役	山川信和
取締役	川口浩男
社外取締役	岡本富夫
社外取締役	古田均
社外取締役	小林恵生
常勤監査役	打田幸正
社外監査役	稲田正毅
社外監査役	中尾孝

株式情報 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 20,000,000株
発行済株式の総数 8,378,700株
株主数 7,794名

大株主[上位10名] (2021年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	443,600	5.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	380,600	4.75
岡田勝彦	369,300	4.61
岡田眞一郎	348,000	4.34
極東開発工業株式会社	300,000	3.74
株式会社三井住友銀行	242,930	3.03
株式会社三菱UFJ銀行	220,000	2.74
株式会社南星	200,000	2.49
株式会社テイサク	185,000	2.31
株式会社池崎鉄工所	180,100	2.25

(注) 1. 当社は、自己株式を376,415株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

配当金と配当性向の推移

